

ひろしまの遺跡

第106号

世羅町で中世遺跡の発掘調査



（世羅町 おおやなぎ 大柳遺跡）

大柳遺跡の基壇の検出状況



ひろちゃん



やよいちゃん

どんな祈りを
したんだろうね。



中段西側石積基壇の状況

発掘調査速報

おおやなぎ せらくんせ らちょう
大柳遺跡(世羅郡世羅町)

調査期間 平成23年5月9日～8月26日

大柳遺跡は、中世荘園として全国的に有名な大田荘域内にあり、遺跡周辺には、現在でも五輪塔など数多くの石造物が存在しています。

今回の調査で確認した主な遺構は、山の南側斜面の背面を削ってつくった平坦面（上段・中段・下段）と、平坦面から見つかった基壇です。

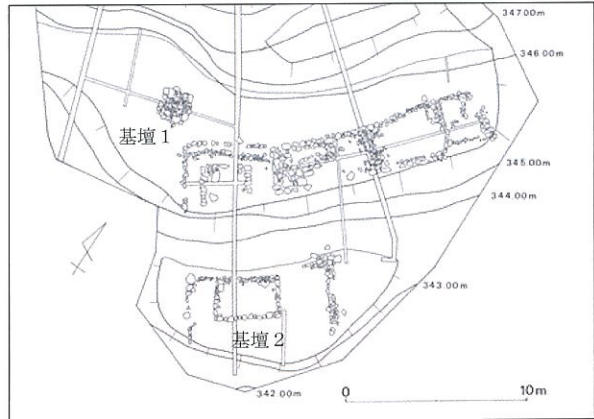
中段の平坦面中央からやや西側では、一辺約1.8mの独立した基壇1を確認しました。基壇の周囲からは軒瓦がまとめて出土しており、一間堂のような建物があったと考えられます。基壇の内部からは、鍋や鉢の他に、古銭18枚・土師質土器の皿13枚・鉄釘6本が出土しました。また、基壇下の土坑からは、底部に鉢を置きその上に蓋をするように数点の土師質土器の皿が置かれており、当時の信仰・儀礼を示唆する貴重な遺構と考えられます。

下段の平坦面からは、軒瓦を含む瓦群が、斜面裾部にほぼ平行して幅約60cm長さ約5mにわたって重なるような状態で出土しました。さらに、長辺約3.6m、短辺約2.4mの外面を揃えて配石された建物の基壇2を確認しました。

出土した土器や五輪塔などは主に室町時代ころのものと考えられます。

本遺跡は、大柳1号～5号墓としていましたが、発掘調査の結果、墓としての特徴である埋葬坑、骨蔵器や人骨等が確認されていません。

このため、本誌面では、大柳遺跡として紹介します。



遺構配置図



基壇周辺から五輪塔や瓦が出土



基壇下から出土した土器群



右側の地蔵は笏をもつ珍しい姿

大柳遺跡(世羅町)を二つの学校が見学

①せらひがし小学校

同校では町内の遺跡を知ることによって郷土に対する愛着を深め、出土したものを通じて当時の生活や文化を学習されています。6月22日、同校の6年生15人が遺跡を見学されました。

当事業団の職員が、この遺跡出土の五輪塔や出土の土器・瓦などから室町時代ごろの信仰の遺跡と考えられることを説明しました。

学校で現地見学から学んだことをもとに、感想文集を手作りされました。そこには、「昔使われていたかわらや五輪塔など、今まで見たことがないものを見ることができた。」や「これからも発掘を進め、もっと世羅の歴史を深めてほしい。」などの感動がつつられています。古里の大昔の歴史に触れた今回の見学は、児童に貴重な思い出となったようです。



せらひがし小学校児童の学習状況

②世羅西中学校

世羅西中学校では地域の中の学校として、地域の文化・自然を地域の先人の話や文化財などから調査し、積極的にふるさとづくりに参画する意欲と態度を育成する取組みを進めておられます。

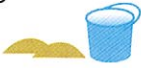
6月23日に第3学年の生徒12名が大田庄歴史館、今高野山、康德寺とともに、大柳遺跡の発掘調査の見学に来られ、熱心に学習されました。生徒たちの感想には「大柳遺跡ではたくさんの方が発掘をしていました。そんな中で五輪塔というものが発掘されているのを見せてもらいました。本当にこういったものが土の中から出てくるんだと驚きました。また、世羅の昔の生活が分かるような茶碗や瓦などが出てきていて、本当に身近に感じます。今回の見学では、世羅にも歴史があり、まだ眠っている文化財があるということ。そして、見つけられた文化財などから昔の世羅での生活がどんなものであったのかを考え、次の世代へつないでいくことが大切だということも学びました。」と述べられていました。



世羅西中学校生徒の現地見学の状況 (1)



世羅西中学校生徒の現地見学の状況 (2)



小迫遺跡・岡野原遺跡(竹原市田万里町)

調査期間 平成23年4月11日～7月22日

小迫遺跡と岡野原遺跡は、田万里川を南に望む北側山麓から延びる丘陵斜面に立地する水田に位置しています。

調査は基盤整備事業に伴って実施しました。調査の結果、小迫遺跡から弥生時代と考えられる径約3mの竪穴住居跡が1軒と中世と考えられる土坑1基、掘立柱建物跡等の柱穴が十数基確認できました。

岡野原遺跡は、調査区が5地区に分かれ、この内、2区で弥生時代後期の土坑と4区で古墳時代の竪穴住居跡住居跡が6軒と土坑4基・溝4条が確認できました。6軒の竪穴住居跡のうち2軒は、同じ場所に重なって建てられており、古い住居が廃棄された後、新しい住居が建てられたことがわかりました。新しい住居跡は一辺が約6mの方形で4本の柱で屋根を支える構造で、床面から古墳時代前期の土師器の甕が出土しました。

他の4軒の竪穴住居跡の時期は、古墳時代後期頃と考えられます。土坑と溝は遺物が出土していないので時期は不明です。

1・3・5区は現在の水田を造成する前の谷地形が確認できました。

今回の発掘調査によって、1～3区と4～5区の間で谷地形が存在し、この谷地形を囲んで弥生時代後期から古墳時代にかけて断続的に集落が営まれていたことがわかりました。

出土した弥生土器は、東広島市域の土器とよく似ており、弥生時代の田万里地域が西条盆地と同一文化圏にあったものと考えられます。一方、岡野原遺跡4区の住居跡から出土した古墳時代前期の土師器の甕は、山陰～広島県北地域の土器と似ていることから、古墳時代には北部からの影響もあったと考えられます。こうした土器の特徴の相違は、田万里地域の当時の文化や交易のあり方を推定する貴重な材料を提供したと言えるでしょう。



小迫遺跡・岡野原遺跡空中写真(西から)



小迫遺跡 竪穴住居跡作業風景



岡野原遺跡 2区土坑作業風景



岡野原遺跡 4区全景(東から)



御領遺跡 (第4次) (福山市神辺町)

調査期間 平成23年4月11日～10月7日

御領遺跡は縄文時代から中世の集落遺跡で、その規模は南北1.4km、東西1.6kmの範囲に広がっており、県内でも有数の規模を持つ遺跡です。遺跡の北端には備後国分寺が所在し、古代～近代にかけては山陽道の通過地で、現在も国道と県道が交差する交通の要衝となっています。発掘調査は国道313号改良事業に伴い平成20(2008)年から継続して実施しており、今回で4次目になります。調査区は北東側から順にA～C区としました。

A区では竪穴住居跡10軒、掘立柱建物跡2棟、溝状遺構5条、土坑4基、その他多数のピットを検出しました。竪穴住居跡には平面形が円形と方形の2種があり、円形は概ね弥生時代後期頃、方形は古墳時代中～後期頃です。円形の竪穴住居跡には中央部の土坑を挟むように柱穴が対峙する2本柱構造のものもありました。溝状遺構(SD1)は東西方向に長さ25m・幅1.8m、断面は概ねU字形で、調査区外に延びると思われる。溝の内部からは中位付近から弥生時代末から古墳時代初め頃の土器類が多量に出土しました。

B区ではピットと流路痕跡を検出しました。流水痕跡は幅15mで、北東端から南西端に続き、中央部がやや東側に張り出しています。深さは約1.3mで、上面に弥生時代～古墳時代にかけての遺物が出土しました。

C区では竪穴住居跡1軒、掘立柱建物跡5棟、溝状遺構6条、土坑10基、ピットを検出しました。掘立柱建物跡は調査区の中央部から南東寄りに5棟まとまってあり、建物の向きはほぼ東西南北に平行しています。ほぼ同じ時期(奈良時代頃)の建物跡と考えられます。また、土坑は径1m程で深さは1～1.5mで底面近くに土器が設置されたように出土したものもあります。

本遺跡に住んだ人々は沖積地としての特徴を利用しつつ、河川を制御していたと思われます。今回調査した地点はこのような集落と土地の管理を考える上で、重要な資料を得たといえます。



A 調査区の竪穴住居跡



C 調査区の調査風景



C 調査区溝内出土土器



C 調査区の遺構掘下げ

◎発掘体験学習の実施

学校教育との連携事業の一環として、高校生の発掘調査体験学習を始めました。この事業は、学校の授業では体感できない遺跡の現地で、弥生時代などの竪穴住居跡や土器や石器を発掘することにより、本物に触れてもらう機会をつくるために計画しました。今年度は8月5日、福山市神辺町所在の御領遺跡（第4次調査）に広島県立高陽東高校の歴史研究部の生徒3名（2学年）が参加しました。



高陽東高校生徒の発掘作業の状況

まず、調査事務所で職員から遺跡の範囲や過去の調査の歩み、出土遺物（土器・石器）について学んだ後、遺跡現地に移動して弥生時代の竪穴住居跡や奈良時代の掘立柱建物跡などの発掘の仕方、出土遺物の取扱いについて説明を受けました。その後、弥生時代後期の溝及び溝内部から出土した大量の土器の検出を行いました。生徒から「普段ではできない作業が体験でき、文化の大切さを身近に感じることができた。」「本物の弥生土器や石器に触れることができ感動した。」との感想が寄せられました。

◎ちょっと 絵図拝見

この絵図は文政3年（1820）の「世羅郡小世良村国郡志下調書出帳」作成に伴って作られたものです。小世良村は西国街道尾道宿と山陰地方を結ぶ雲石街道甲山宿の南側に隣接する村です。絵図は多様な情報を提供してくれますが、今回は2点について紹介しましょう

第1点は絵図中央にある「臺り塚」です。「臺り塚」は一里塚のことで、この場所は「鳥越の一里塚」と呼ばれています。赤線で表記された道の両側に2本の塚木が描写されています。広島藩内の一里塚は、円形状の盛土上にマツなどの塚木を植えていたようで、平成12年に発掘調査された西国街道の日向の一里塚（東広島市）でも街道を挟んで、南北2か所に径約6mの盛土が確認されました。

また、雲石路にある「広島県史跡山家一里塚」（三次市）でも盛土上にマツを植えており、この絵図とも一致しています。



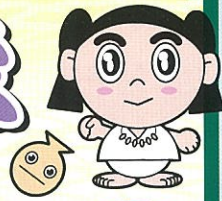
小世良村絵図



広島県史跡山家一里塚

2点目は一里塚の下方（北側）に古城山（小世良山城跡）が描かれ、甲山盆地を一望できる懸崖頂部の本丸をはじめ14か所の郭の大きさ及び面積が記載されています。この城は世羅郡の山城では最大級の規模をもち、15～16世紀にかけて世良氏が居城としましたが、その後廃城となりました。約300年後の「下調書出帳」の作成の時点でも山城跡として認識され、調査・記録されたものです。当時の山城跡に対する認識を知る上で貴重な資料といえます。

考古学 アラカルト 39



私たちは長い歴史のなかで、自然と共生し、動物や植物から多くの恩恵を受けて暮らしてきました。

今回は植物と我々との関わりについて紹介します。

蓮と日本人との関わりは古く、わが国最古の蓮は昭和26年に千葉市落合遺跡の約2000年前の地層から発見された種子です。この種子は翌年に発芽に成功し、「大賀ハス」と名付けられ、現在も鮮やかな薄紅色の華を咲かせ、その姿は清々しく神秘的な美しさです。

文化史的には仏教文化の伝播とともに、豊かな蓮文化が多様な展開をみせます。飛鳥時代の法隆寺の軒丸瓦や仏像の蓮華座、金堂壁画の蓮などが始まりです。

広島県最古の遺物は飛鳥時代に創建された三次市寺町廃寺出土の軒丸瓦(写真1)です。時



写真1 寺町廃寺出土の軒丸瓦
(広島県立歴史民俗資料館保管)

代は下って、平安時代後期になると、現世利益を求めるとさまざまな信仰とならんで、来世での幸福を説いて現世の不安から逃れるようする浄土思想が盛んになり、往生する人を阿弥陀仏が来臨して極楽浄土の蓮の上に救済すると説かれたことから、蓮は日本人の信仰生活の中で最も身近な存在になりました。その代表例として、平清盛が長寛2年(1164)に厳島神社に奉納した「平家納経」の見返しには多くの蓮池図(写真2)や蓮の散華の状況が見事に描かれています。また、同時代に埋納された厳島神社近くの経尾経塚から出土した中国製の青白磁合子(写真3)の内面には蓮のつぼみや葉が表現されています。その後、数多く仏像や仏具をはじめ、絵画、蒔絵、陶磁器、紋章(写真4)など様々な分野に蓮がモチーフとして表現されました。

万葉集や枕草子などの文学作品をはじめ、短歌や俳句にも夏を代表する植物として採用されています。

また、和菓子や辛子蓮根など食物のほか、紋章としても利用され、私たちの生活文化を豊かにしてきました。

蓮は日本人の生活の中に深く溶け込み、多くの植物のなかで最も身近な植物となっています。



写真2 国宝平家納経薬王品第二十三
(厳島神社蔵)



写真3 経尾経塚出土の青白磁合子(厳島神社蔵)



写真4 蓮をデザインした紋章

平成23年度中国横断自動車道尾道松江線建設事業に係る
備北地域埋蔵文化財発掘調査報告会V
—ハイライト①・集落と古墳—
を開催します

備北地域では平成17年度から、中国横断自動車道尾道松江線建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査を行っています。これまで、多くの古墳をはじめ、旧石器・縄文～古代の多彩な遺構・遺物が見つかり、この地域の歴史像の解明に重要な手がかりをもたらしています。

今回は、これまで行った発掘調査のなかから、特に注目された古墳や集落跡4か所について、その調査成果を調査担当者がスライドを使って報告します。

また、写真パネルや出土遺物も一部展示します。



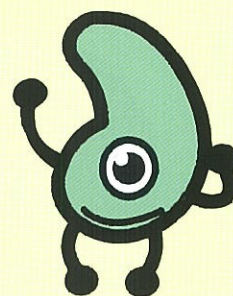
昨年度の開催状況

- 日 時：平成24年2月25日(土) 14時～16時
- 会場：広島県立歴史民俗資料館 研修室（三次市小田幸町122）

参加費無料，事前申込不要（資料館展示の観覧には別途入館料が必要です）

- 報告する遺跡：各報告は30分

No.	名 称	時代・種別
1	宮の本第24号古墳	中期， 竪穴式石室・箱式石棺
2	札幌古墳	後期， 横穴式石室
3	曲第2号古墳	中期， 組合式木棺
4	和知白鳥遺跡	中期～後期， 集落跡



- ◎主催：財団法人広島県教育事業団
 広島県立歴史民俗資料館



曲第2号古墳出土の短甲

財団法人広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室報
ひろしまの遺跡 第106号

発行日 平成24(2012)年1月20日
 編集 財団法人広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室
 〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目8番49号
 TEL(082)295-5751
 ホームページ <http://www.harc.or.jp>
 E-mail maibun@harc.or.jp
 発行 財団法人広島県教育事業団
 印刷 株式会社エール・コ